



島かべしっくい施工要領書について

施工要領書に該当する商品

この施工要領書に書かれている「漆喰」とは、当社製造の島かべしっくい（上塗り漆喰仕上げ材）及び、高級島かべ、島かべ練り漆喰であり、すべての既調合漆喰製品に該当するものではありません。また、「砂漆喰」とは当社製造の島かべ砂漆喰であり、「黒漆喰」は瑞黒（ズイグロ）を記しております。その他カラー漆喰やしっくるん、リライムなどは、この施工要領書以外に各商品のカタログ及び商品説明書をご参考に施工して下さい。



島かべしっくいの混練（攪拌）

混練は、漆喰にとって重要な作業になります。混練不足は漆喰のダマ（塊）が発生し作業効率を悪くします。漆喰専用の攪拌羽根を利用し、必ずハンドミキサーで混練して下さい。



① 練り樽（タル）



練り樽は市販の左官用を利用しますが、プラスチック製の練り樽は攪拌機の羽根で表面を削り削れたカスが異物になる場合があります。ステンレス製の物をお勧めします。また、モルタル・石膏プラスターなど他の製品との併用は避け漆喰専用の練り樽をお使い下さい。

② 練り水：（清水・水道水）



練り水は表記水量の若干少な目 95%程度先に練り樽に入れます。例）島かべしっくいの場合 1 袋 20 kg混練の場合 14ℓ / 程度入れます。※ここでの水は、基本「水道水」をご使用下さい。井戸水などの場合異物や塩分などの成分により何らかの不具合が起こる場合があるので使用しないでください。

③ 島かべしっくいの混入



練り水を入れた後、漆喰を入れます。
※一度に漆喰を入れて下さい。軟らかく練るため少しずつ漆喰を追加すると「ダマ」の原因になり、練り樽の底に島かべしっくいが残る原因にもなります。

④ 混練（攪拌）



力の強いハンドミキサーを利用し一気に練ります。最初は硬く混練が困難ですが、根気よく混練する事でだんだん軟らかくなってきます。

完全に練りあがるまで水は追加しないで下さい。固練りを続ける事で、すさが分散し、「ダマ」が擦りつぶれ無くなります。

⑤ 島かべ油 or 島かべミクサップの追加



外壁への漆喰塗り

外部に漆喰を使用する場合は下記の選択肢よりご検討下さい。

- (1) 島かべ油を入れる場合
調整水（追加水）を入れる前に 500g を 1 本入れてください。
- (2) 島かべミクサップ（撥水剤）を入れる場合
練り水を 800g 減らし先に練り水と混ぜて下さい。
- (3) 島かべ撥水剤を使用する場合
島かべ油も島かべミクサップも入れないで下さい。



⑥ 調整水の混入（硬さ調整）



漆喰が練り上がりましたら残りの練り水を調整水として硬さを調節しながら混入し練って下さい。

※漆喰は練り置きすることで塗りやすくなります。混練は、1 日～1 週間程度前に練って置くことをお勧めします。もちろん、練ってすぐに使うことは可能です。

島かべ練り漆喰は、使用前再度練り樽で混練（攪拌）して下さい。
硬い場合は混練水を追加し練り戻して下さい。



島かべしっくい練り置きと長期保存

島かべしっくいは、練り置き・長期保存が可能です。



□練り置き

施工前 2 ～ 3 日ほど練り置くと塗りやすくなります。練ってすぐご使用できますが練り置きする事で作業性が向上します。仕事を行うと決まった時点での練り置きをお勧めします。

□長期保存

漆喰は、乾燥させなければ長期保存が可能です。バケツに水を張り、乾燥しないように密閉保管していただくと長期保存も可能です。



島かべしっくいの適応下地

島かべしっくい施工に関して、不具合が発生する危険性がある下地は、

- ① 亀裂、湾曲・たわみなどが発生する下地
ラスカット、サイディングボード、構造用合板、軽カル板、薄ベニア等
- ② 下地からのアクシミ止めが必要な下地
アクシミ等が心配な物は適切な下地処理を行って下さい。

下地処理、下塗りが必要ですが下記の下地には施工可能です。

内装下地	外装下地
石膏ボード (12.5 mm厚以上)	ラスモルタル (16 mmモルタル塗り)
石膏ラスボード (B ドライ 8 mm以上)	コンクリート (補修材塗り)
木摺り下地	コンクリートブロック (モルタル塗り)
小舞荒壁	小舞荒壁
合板 (10 mm厚以上)	



島かべしっくいの下地調整・下地処理

下地調整は漆喰を塗る前に行う重要な作業となります。ドライアウト、亀裂の発生浮き、アクシミなどの不具合を起こさないための重要な作業になります。漆喰の下地への激しい吸水 (水引き) は大敵です。吸水の激しい下地への施工は十分な注意が必要です。適切な下地調整・下地処理を行って下さい。

- ① 吸水 (水引調整) と接着増強の混同による不具合

シーラーは漆喰壁には万能ではありません。

よく漆喰とモルタルを混同し、すべての下地処理をエチレン酢ビやアクリル系のシーラーで処理と言われていますが、下地の吸水調整と接着増強は漆喰の場合違います。古い漆喰壁にはシーラーだけでは付着しません。ご注意下さい。

② 吸水の激しい下地への処理

モルタルや石膏プラスター、砂漆喰などの引っ掛かりがある下地への漆喰施工には「島かべドライストップ」3倍液を刷毛・ローラーで塗布してください。

ドライストップは、耐アルカリの吸水防止剤で、エチレン酢ビ系の接着剤より長期に効果を持続します。

島かべ
ドライストップ



注意事項

- (1) コンクリート面や古い漆喰などの平滑面に他社製シーラーを使用しその上に漆喰を塗らないで下さい。必ず塗り替え用下地材「ボードベース」「漆喰ベース」をお使い下さい。
- (2) 他社製シーラー及びエチレン酢ビ系接着剤は漆喰には使用しないで下さい。吸水調整には「島かべドライストップ」をお使い下さい。

③ 島かべしっくい下地の接着増強処理

シーラーは、表面が平滑になり接着増強（接着）効果はありません。吸水（水引き）を調整しドライアウト等を防ぐ役割です。

下地への接着増強には「島かべプライマー」を原液でお使い下さい。「島かべプライマー」は、乾燥後純白になり、表面もザラザラになり表面積が増え、漆喰の付着（接着）力を向上させます。

古壁・ビニールクロス・モルタル・コンクリート下地にお使い下さい。

島かべプライマー
12 kg入



島かべプライマー
3 kg入



島かべプライマー
1 kg入



④ 下地のアク止め処理

ビニールクロスのリフォームや古壁、合板などの下地に漆喰を塗る場合アクが心配になります。これらの下地に直接漆喰を塗る事はできませんが、「島かべプライマー」を利用しアク止め処理を行って下さい。

合板などのアクが強い下地には、「島かべプライマー」乾燥後「ボードベース」を塗って下さい。

⑤ 下地への吸水が原因で不具合となる現象

- (1) 塗り付け後ブツが発生する。
下地への急激な吸水が原因の現象です。作業を中断し、「島かべプライマー」を塗布し、乾燥後再度作業を行って下さい。
- (2) 塗り付け直後から乾燥し、直ぐに乾燥してくる。
他社石膏プラスターなどへの施工の場合よくある現象です。「島かべプライマー」で再度下塗り調整を行って下さい。



島かべしっくいの下塗り（中塗り）

適切な下地に対し、下地処理を行いその上に下塗り（中塗り）を行います。

各下地により下地処理と下塗り（中塗り）は変わりますが、内装・外装用に専用の下塗り材をご用意しております。

モルタル、中塗り土、石膏プラスター、各種下塗り材は必ず完全乾燥してください。

モルタルや石膏プラスター、中塗り土に絶対に追い掛けしないで下さい。

接着不良による浮き剥落、アクの発生などもあります。

① 島かべ砂漆喰（中塗り漆喰）について

島かべしっくいを塗る中塗りには基本的には砂漆喰をお使い下さい。モルタルや土壁下塗りの不陸調整が容易にでき、漆喰を塗るのに適したフラットな下地ができ、追い掛けで仕上げることで、漆喰が美しく仕上がります。

(1) モルタルや石膏プラスターの不陸を修正し、上塗り施工に適したフラットな下地を作る事が出来ます。

(2) 漆喰に必要な水分を保水し、ドライアウトなどを抑制します。

(3) モルタル等に塗る事で、モルタルの動きの緩衝材になり亀裂を軽減できます。

(4) 漆喰の厚みが増し、中性化を遅め漆喰の耐久性を向上させます。

(5) 水持ちが良くいつまでもノロが浮き、鰻押さえを多く行え表面強度が向上します。

(6) フラットで美しく仕上がります。

② 島かべ砂漆喰への追い掛け

砂漆喰への追い掛けのタイミングは非常に難しく、早すぎると砂が浮き、遅すぎるとブツ（気泡）が出来ます。また、乾燥がムラになると漆喰を塗り付けた場合にムラ引きし上手く仕上がりにません。

島かべ砂漆喰は、このタイミングをできる限り広く塗りやすく改良しました。

しかし、追い掛けが出来ない場合は、無理せず一度完全乾燥し、「島かべドライストップ」3倍液を塗布し漆喰を塗り付けて下さい。

砂漆喰を塗り付け、追い掛けで漆喰を塗る場合は砂漆喰をよく押さえて下さい。

この場合は、塗り付けに地金や半焼の焼きの甘い鰻を利用し、十分厚みを付けてフラットに仕上げて下さい。砂漆喰も良く押さえて下さい。



島かべしっくい専用下塗り（中塗り材）

島かべ砂漆喰などが使えない場所や、コンクリート面の下塗り、古い漆喰の塗り替えなどに専用の下塗り（中塗り材）があります。石膏ボードやビニールクロス塗り替えなどに、「内装用ボードベース」「外装用漆喰ベース」をお使い下さい。





島かべしっくい下地別施工工程

適応下地

石膏ボード下地
(プラスターボード)

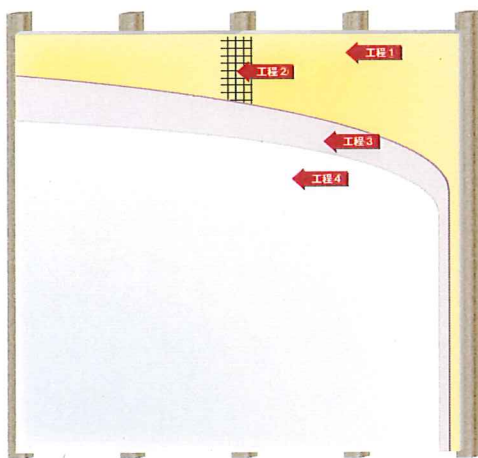
施工箇所

内壁



石膏を原紙で被膜した物で、防火性に優れ加工しやすく軽いことから現在の建築の内装下地として広く普及しております。特殊用途により様々な種類があり、ビニールクロスから塗り壁まで様々な仕上げ材に使われております。

プラスターボードは不陸を無くし、ジョイント部分をVカットにし取り付けて下さい。
間柱 450 mmピッチ以内にし、取り付けビスの間隔を 100 ~ 200 mm程度で細かくしてください。



① 【プラスターボード下地処理】

ボードは 12.5 mm厚の物を使用し、ビス止め
ボードのジョイント部分はVカットし、間柱の間隔は
450 mm以内としつなぎ目部分に設置

② 【目地・ジョイント処理】

ジョイント部分・出隅・入隅等はファイバーテープで
補強
目地とファイバーテープを埋めるようにボードベース
をしごき塗り (2 時間乾燥)

③ 【下塗り】

ボードベース塗り 0.7 mm厚
(夏場 12 時間 冬場 24 時間乾燥)

④ 【上塗り】

島かべしっくい塗り 1.5 mm厚 (7 日以上乾燥)

適応下地

ラスボード下地

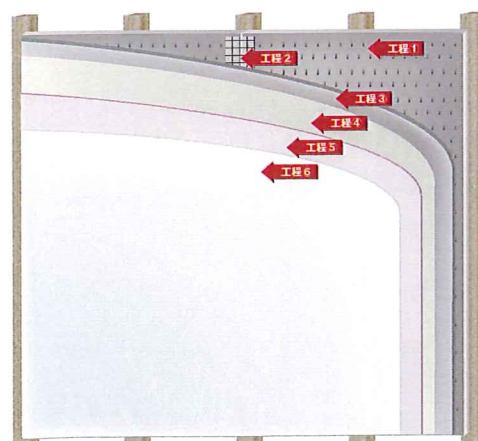
施工箇所

内壁



塗り壁用の石膏ボードとして普及し、強靱な原紙で石膏を挟み込み、表面にくぼみを付けた下地です。厚みが薄いので塗り壁の場合は、B ドライプラスターを 8 mm塗って使用します。

ラスボードのジョイント部分はジョイントネットで補強してください。
B ドライプラスター【吉野石膏】への追い掛け塗りはしないでください。



① 【ラスボード下地処理】

ラスボードはビス止めし、間柱の間隔は 450 mm以内としつなぎ目部分に設置

② 【目地・ジョイント処理】

ジョイント部分・出隅・入隅等はファイバーテープで
補強

③ 【下塗り】

B ドライプラスター 2 回塗り【吉野石膏】 8 mm厚
(48 時間乾燥)

④ 【中塗り下地処理】

島かべドライストップ 3 倍液塗布 (24 時間乾燥)

⑤ 【中塗り】

ボードベース塗り 0.7 mm厚
(夏場 12 時間 冬場 24 時間乾燥)

⑥ 【上塗り】

島かべしっくい塗り 1.5 mm厚 (7 日以上乾燥)

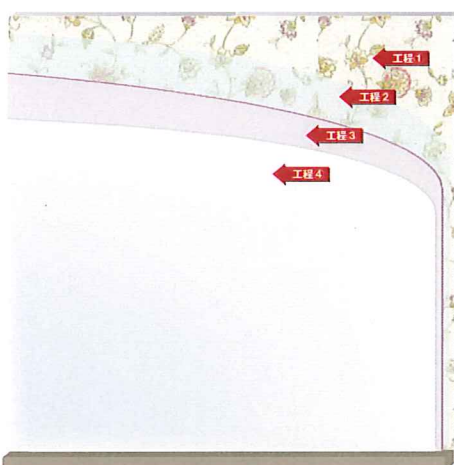


島かべしっくい下地別施工工程

適応下地
ビニールクロス下地
施工箇所
内壁


リフォーム需要が多くなる中でビニールクロスの塗替えも下地となります。クロスをはがす事で下地の強度が低下するため、クロスをはがさずに施工します。弱い部分を補強し、ボードベースを塗ることで、漆喰の塗り替えが可能です。

クロスが汚れている場合は中性洗剤を使用し、濡れたタオルで除去してください。
クロスの浮き、剥がれがある場合はその部分をカッターで切り取り、切り取った箇所はファイバーテープ張り、ステンレスのタッカーで止め補強してください。

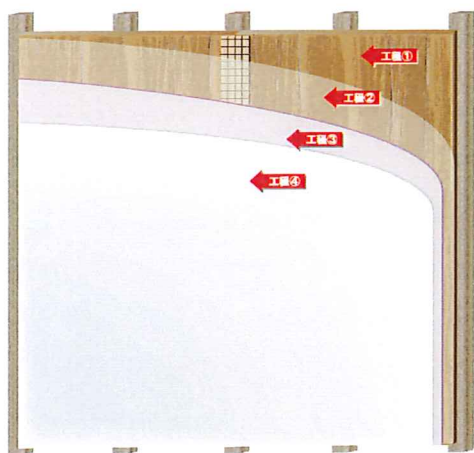


- ① **【クロス下地処理】**
クロス剥離部分の除去、補強（タッカー等）目地・つなぎ目部分ファイバーテープ補強
※詳しくは、クロス塗り替えマニュアル参照
- ② **【アク止め処理】**
島かべプライマー塗り（24 時間乾燥）
- ③ **【下塗り】**
ボードベース塗り 0.7 mm厚
（夏場 12 時間 冬場 24 時間乾燥）
- ④ **【上塗り】**
島かべしっくい塗り 1.5 mm厚（7 日以上乾燥）

適応下地
合板（コンパネ）下地
施工箇所
内壁


アクが出やすい下地ですので、下地に「島かべプライマー」を塗り残しがないよう確実に塗り、乾燥後「ボードベース」を塗り、乾燥した時点でアクが出てきていないか確認してください。アクが出てきていれば、再度「ボードベース」を塗ってください。

薄い木材を接着剤で張り合わせ、1 枚の板にしたボード、強度と加工が容易で床材や天井材など様々な建築構造材として普及しております。漆喰壁の下地としては曲げ反りなどと、強いアクが問題となりあまり適しません。



- ① **【目地・ジョイント処理】**
合板は、12 mm厚以上の物を使用し、間柱の間隔は 450 mm以内でビス止めを行う
ジョイント部分・出隅・入隅等はファイバーテープで補強
- ② **【アク止め処理】**
島かべプライマー塗り（24 時間乾燥）
- ③ **【下塗り】**
ボードベース塗り 0.7 mm厚
（夏場 12 時間 冬場 24 時間乾燥）
- ④ **【上塗り】**
島かべしっくい塗り 1.5 mm厚（7 日以上乾燥）

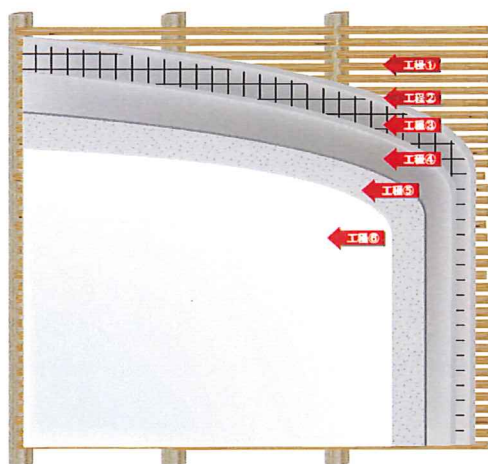


島かべしっくい下地別施工工程

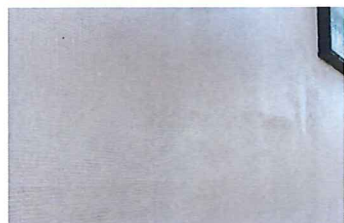
適応下地
木摺り（木小舞）下地
施工箇所
内壁


幅 3 cm 程度の杉材を釘止めした下地。明治中期頃より洋風建築が盛んに行われるようになるのと同時に普及してきました。石膏ボードが無い頃に洋風の柱を見せない大壁デザインに適しており、石膏ボードの誕生までは日本建築の中心的な下地でした。

木摺り板は芯去り材、白身の製材でなるべく乾燥したものを使用してください。
天井部は木摺り板に木舞縄を巻きつけ、溝を掘りドカッと！の食いつきをよくしてください。

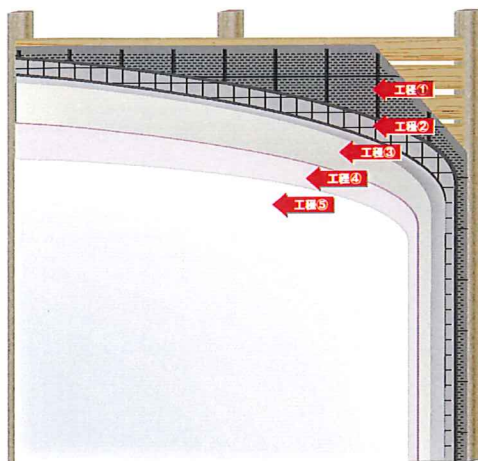


- ① **【木摺り下地】**
木摺り下地は、幅 3 cm × 厚 12 mm 程度の木摺り板で間隔は 7 mm ～ 10 mm 程度開け釘打ち間柱の間隔は 450 mm
- ② **【下擦り】**
島かべドカッと！塗り 5 mm 厚 2 回塗り
- ③ **【下塗り補強】**
島かべネット全面伏せ込み ※追い掛けにて下塗り施工
- ④ **【下塗り】**
島かべドカッと！塗り 10 mm 厚（7 日以上乾燥）
- ⑤ **【漆喰中塗り・砂漆喰】**
島かべ砂漆喰塗り 3 mm 厚
※追い掛けにて上塗り島かべ漆喰塗り
- ⑥ **【上塗り】**
島かべしっくい塗り 1.5 mm 厚（7 日以上乾燥）

適応下地
ラス・モルタル下地
施工箇所
外装・内装


外装漆喰では最も一般的な下地です。構造用合板やバラ板の上に防水紙を張り金属ラスを貼り付けモルタルを塗った下地。モルタルメーカー各社の技術革新により様々な工法があり近年割れにくくなっており、木造住宅の外壁にはよく使われています。

モルタルは塗りつけ後、最低 14 日以上乾燥期間を設けてください。クラックの原因になります。
モルタルは吸水が激しいので「島かべプライマー」を塗付して下さい。「島かべネット」は全面に伏せ込んでください。特に亀裂が入りやすい出隅、入隅、開口部などは必ず伏せ込んでください。



- ① **【ラスモルタル下地】**
各社モルタルメーカーの仕様に従い、防水紙、メタルラスの取り付け
- ② **【モルタル塗り】**
モルタルメーカーの仕様に従い、既調合モルタル塗り 16 mm 厚
8 mm 厚 2 回塗りで 1 回目と 2 回目の間に島かべネット全面伏せ込み（夏季 7 日間乾燥 冬季 10 日間乾燥）
- ③ **【中塗り下地処理】**
島かべプライマー（24 時間乾燥）
- ④ **【中塗り】**
島かべ砂漆喰 3 mm 厚（24 時間乾燥）
- ⑤ **【上塗り】**
島かべしっくい 1.5 mm 厚（7 日以上乾燥）



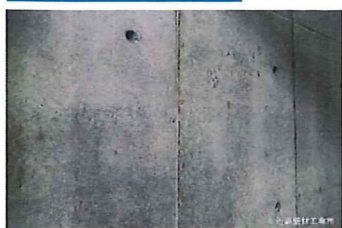
島かべしっくい下地別施工工程

適応下地

コンクリート（RC）下地

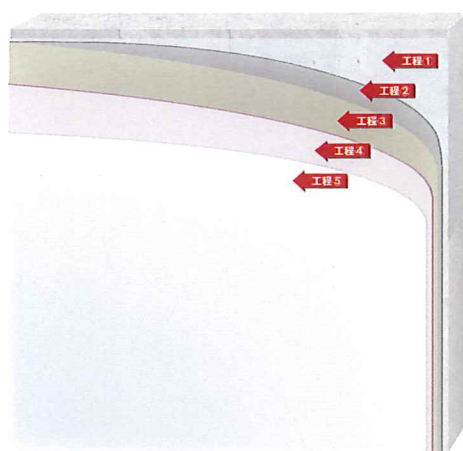
施工箇所

外壁・内壁



RC と言う鉄筋とコンクリートを組み合わせた強固な下地。大型建造物に使われることが多く、漆喰下地としてはお城で使われる事が多い。比較的丈夫な下地で構造的なクラックは少ない。薄塗りで内外装利用できる下地です。

コンクリート下地は施工後躯体の動きがあります。100 日以上養生を行ってください。コンクリート下地は裏から漆喰との接着界面に水が回り、剥離を起こす危険性があります。下塗りとなるモルタルは、ボンド入りの樹脂モルタル等をお使い下さい。



- ① **【コンクリート下地処理】**
サンダー掛け、ケレン処理、清掃後ハイフレックス【日本化成】等接着剤塗布（24 時間乾燥）
- ② **【躯体補修・セパ穴処理】**
補修材ポリマーミックス【日本化成】等塗りセパ穴も同材料で穴埋め
- ③ **【中塗り下地処理】**
島かべプライマー（24 時間乾燥）
- ④ **【下塗り】**
漆喰ベース塗り 1 mm（24 時間乾燥）
- ⑤ **【上塗り】**
島かべしっくい塗り 1.5 mm（7 日以上乾燥）

適応下地

古壁（塗り替え）下地

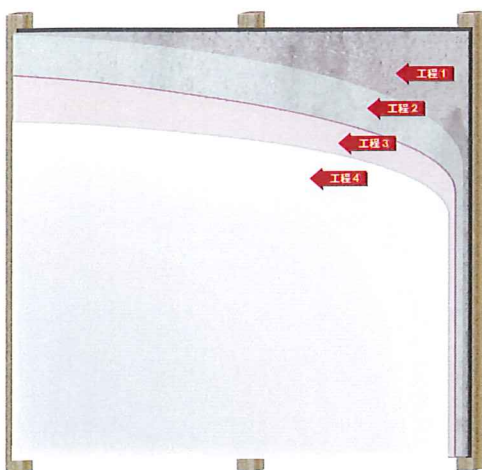
施工箇所

外壁・内壁



リフォーム需要が多くなる中、古壁の塗り替えは重要な左官工事となります。適切な下地処理を行わなければ施工後にシミ、アク、亀裂などの不具合が生じます。漆喰の下地としては古壁はあまり適していませんが、確実な下地処理で対応して下さい。

古い漆喰壁や砂壁などの塗り替えは、表面の強度、下地の状態、亀裂・剥離の状況の確認が必要です。塗り替える下地の状態が悪い場合は撤去し、下地から作り変える必要があります。塗り替える場合も、カビ・汚れ・アクシミは清掃し塗り替えて下さい。



- ① **【古壁処理】**
古壁に浮き剥離、亀裂等無いか確認、繊維壁など表面に強度がない場合は撤去
汚れがある場合は清掃、カビがある場合は殺カビ剤塗布
- ② **【アク止め処理】**
島かべプライマー（24 時間乾燥）
- ③ **【下塗り】**
[外部の場合] 漆喰ベース塗り 0.7 mm厚
[内部の場合] ボードベース塗り 0.7 mm厚
- ④ **【上塗り】**
島かべしっくい塗り 1.5 mm厚（7 日以上乾燥）



島かべしっくい下地別施工工程

適応下地

小舞荒壁（土壁）下地

施工箇所

外壁・内壁



割り竹を格子状に木舞縄で網み組んだ下地。荒壁を塗り土を塗り重ね、漆喰を仕上げるには非常に適した下地である。工期や単価の問題から近年見る事は少なくなっているが、こだわりの住宅には現在も使われている。

貫伏せ工程ではパームや長藁を利用し、しっかり伏せ込むことで貫割れ（クラック）を防ぐことができます。中塗土が完全乾燥後、「島かべ砂漆喰」工程に進んでください。中塗土が乾燥していない状態で進むとアクが仕上げ面まで出てくる事があります。



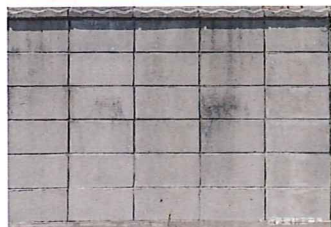
- ① **【荒壁下地】**
荒壁下地・貫伏せ・大直し等各地域の施工方法に準じて施工。
十分な期間を置いて完全乾燥
- ② **【中塗り・中塗り土】**
既調合中塗り土：中土（なかつ） 10 mm厚塗り
（3日～7日完全乾燥）
- ③ **【漆喰中塗り・砂漆喰】**
島かべ砂漆喰塗り 3 mm厚
※追い掛けにて上塗り漆喰塗り
- ④ **【上塗り】**
島かべしっくい塗り 1.5 mm厚 （7日以上乾燥）

適応下地

コンクリートブロック下地

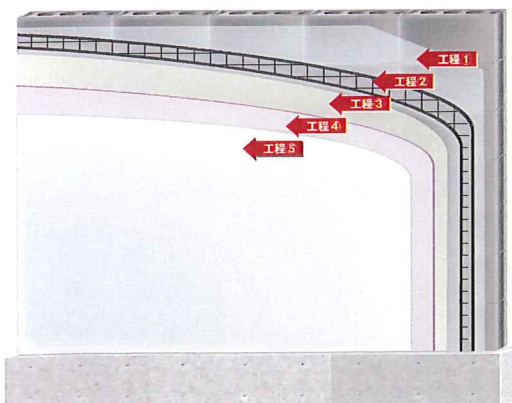
施工箇所

外壁・内壁



ブロックを鉄筋で補強し積み上げた下地。下地の吸水も高く、コンクリートブロックの特性上、目地部の亀裂も多いのが欠点。ブロック部分からの水の侵入に注意が必要で、樹脂モルタル塗りと施工後の撥水剤の塗布は効果的である。

ブロック下地は裏から水が回り、剥離を起こす危険性があります。下塗りとなるモルタルは軽量モルタルに樹脂を入れ保護してください。目地部でクラックが発生しやすいので、必ず「島かべネット」を全面伏せ込んで下さい。



- ① **【コンクリートブロック下地処理】**
コンクリートブロックの目地をモルタル補修材で埋める、島かべドライストップ 3 倍液塗布（24 時間乾燥）
- ② **【モルタル塗り】**
既調合軽量モルタル塗り 8 mm厚
島かべネット全面伏せ込み
既調合軽量モルタル塗り 8 mm厚
（夏季 7 日間 冬季 10 日間以上乾燥）
- ③ **【中塗り下地処理】**
島かべプライマー塗布（24 時間乾燥）
- ④ **【下塗り】**
漆喰ベース塗り 1 mm（24 時間乾燥）
- ⑤ **【上塗り】**
島かべしっくい塗り 1.5 mm（7 日以上乾燥）



島かべしっくいの養生

漆喰の施工後の乾燥日数は、季節（気温）、塗り厚で大きく変わります。通常 2 週間程度で乾燥しますが、冬季の場合は 1 か月近く乾かない場合もあります。完全に乾燥するまでは特に雨に掛からないよう養生して下さい。

また、夏場の急激乾燥にも十分注意し、ドライアウトなどに注意し日除け対策と施工時期に十分注意して下さい。海藻糊混入で対策出来ますが、モルタルなど下地が熱くなっている場合は効果がありません。練り水の水温もあまり上昇しない様に注意して下さい。



島かべしっくいのメンテナンス

① 島かべしっくいの汚れ

(1) 内壁の汚れ

表面に付着した手垢などは消しゴムで除去できる場合があります。
マジックなどの汚れは、細かいサンドペーパーでやさしく削り落して下さい。
表面からの汚れは水拭きか中性洗剤を使いスポンジで清掃するとある程度除去する事が出来ます。その場合でも取れない場合は、塩素系の漂白洗剤やオキシドールや市販のカビ除去の塩素系洗剤をお試しく下さい。

(2) 外壁の汚れ

内装の汚れ同様、中性洗剤で清掃しても取れない場合は、塩素系漂白洗剤で洗浄して下さい。洗剤で取れない場合は、サンドペーパー等でやさしく削り落として下さい。施工後は、「島かべ撥水剤」を塗布して下さい。

② 島かべしっくいの亀裂

(1) ヘアークラックの隠蔽

小さなヘアークラックの場合は、「島かべヒビキエール」をお使い下さい。

(2) 塗り替えの場合

亀裂箇所が浮いていない場合は、亀裂箇所をファイバーテープで補強し、「島かべプライマー」を塗布し乾燥後内装に「ボードベース」 外装に「漆喰ベース」を全面に塗り、再度島かべ漆喰を塗って下さい。

③ 島かべしっくいのカビ

カビの発生した面は、市販のカビ除去洗剤などで洗浄できますが、再度発生する場合があります。

塗り替える場合は、「島かべ殺カビ剤」を塗布し、その後「島かべプライマー」を塗布して内装に「ボードベース」外装に「漆喰ベース」で塗り替えて下さい。
また、カビの発生を抑えるため、「島かべ撥水剤」を塗布して下さい。



施工上の注意事項

□ 施工の時期に気を付けて下さい。

島かべしっくいは、夏の炎天下や冬の寒い時期の施工は行わないで下さい。特に内部外部関係なく昼夜養生日施工後2週間の期間を含め、5℃以下になる場合は施工しないで下さい。

□ 施工下地内装・外装について

記載の下地「コンクリートブロック」「軽量モルタル」「コンクリート」「木舞土壁」は内外装にご利用頂けますが、その他の下地は基本内装用下地となります。

□ 記載内容以外の下地について

本施工要領記載以外の下地については亀裂の危険性及び、施工実績が無いなどの理由から表示しておりません。特に「外部ラスカットボード」「サイディングボード」「デラクリートボード」などの外部パネル系下地は亀裂の発生が報告されている理由により、現在では施工をお勧めしておりません。

ニュータイプの漆喰、「リライム」「キープウォール」などの製品は、上記の様な下地にも対応出来ますので、お問合せ下さい。

□ 島かべ砂漆喰の内装利用について

一部、内装島かべ砂漆喰の記載が無く、「ボードベース」に直接上塗り漆喰と表記しておりますが、砂漆喰を塗って頂く方が機能性、耐久性、上塗り漆喰の仕上がりすべてにおいて向上します。外装には必ず使用し、内装においては「ボードベース」上に直接上塗り漆喰を塗って頂いて問題はありません。

□ 塗り付け厚に注意して下さい。

漆喰は、厚塗りが出来ません。厚塗りする事で亀裂等が入ります。標準施工厚を超えないように施工して下さい。

□ ブツが出る場合は施工を中断して下さい。

ブツが出る下地は下地が乾燥し急激に吸水しているか、逆に水が吸水しない場合にも起こります。押さえる事でブツは消えますが、基本的には接着不良となる為作業を中断し下地処理を行って下さい。

□ 表面にすさが見えないように押さえて下さい。

漆喰は十分に押さえる事で本来の性能を発揮します。押さえが足りない場合はノロが浮かず表面にノロが被さりません。この場合表面にすさが見え、すさから吸水し割れなどが発生する場合があります。十分に鍔押さえを行いノロを被せすさを沈めて下さい。

□ 急激な乾燥は避けて下さい。

夏場など急激な乾燥は避けて下さい。乾燥が早くなる場合は、砂漆喰を厚く塗り漆喰に海藻糊を追加し対策して下さい。

□ 島かべしっくいは自然素材です。

ロットによる多少の色調の違い、すさや糊材の異物等混入している場合がありますが品質には影響はありません。自然素材であることをご理解の上で使用ください。

□ 完全乾燥と追い掛けについて

完全乾燥は、その製品が完全に硬化した状態を意味します。硬化時間は製品によって違いがあります。

追い掛けは、乾燥させずにタイミングで次工程に入る事を示し、特に砂漆喰に上塗り漆喰を塗る場合などは追い掛けの方が美しく強く仕上がります。ただ、天候、気温などに大きく左右されますのでご注意ください。施工中ブツが発生するような場合は、追い掛けのタイミングが遅く、表面に砂漆喰の砂が出る場合は追い掛けのタイミングが早いので施工を中断し処理を行って下さい。

□ 古壁・ビニールクロスの塗替えについて

古壁やビニールクロスの塗替えは、表面よりその下の下地が何かわからない為、十分にご注意下さい。特に大きな構造亀裂（クロスを破る様な下地の割れ）などがある場合は、その部分から再度亀裂が発生する危険性があります。下地から補修する必要があります。

古壁も、3mm～5mmのベニアなど比較的薄い下地に塗られている場合などがあり、塗り替えても割れる危険性があります。下地を確認して下さい。

□ 下地のアク止めについて

「島かべプライマー」と「ボードベース」の併用で様々なアクを止める事が可能ですが、下地によっては止まらない物もあるのでご注意ください。アクを100%止める事は保障できません。

□ 記載内容の免責事項

各種施工要領に記載した施工要領は、施工・完成を保証するものではありません。本書を参考にしてください。また、季節・気温・天候・方角など様々な条件により厚みや施工方法は変わります。漆喰の自然素材の特性を十分にご理解頂きで使用ください。

記載の漆喰及び漆喰関連商品は弊社近畿壁材が販売する製品であり、すべての漆喰製品及び他社製品を記した物ではありません。

ご不明な点で質問は下記にお問合せ下さい。

近畿壁材株式会社 0799-85-1147 (代)